

JR 美祢線利用促進協議会

第2回復旧後の利用促進検討ワーキンググループ議事概要

1 日 時

令和5年12月14日（木）

2 会 場

厚狭地域交流センター第2研修室（厚狭地区複合施設内）

3 議 題

(1) これまでの協議会活動における課題等の整理について

H22以降の協議会活動における課題等について意見交換を行った。

■意見交換の内容（協議会活動で利用者数が伸び悩んだ原因や課題）

- 1 協議会の事業内容について
- 2 社会情勢等の変化・影響について
- 3 その他

(2) 復旧後を見据えた利用促進策の方針・方向性の検討等について

ア 沿線人口を考慮すると、沿線住民を対象とした『マーケティングだけでは不十分』との意見があった。⇒JR西日本

イ 大量輸送としての鉄道の特性が発揮させるための判断基準について提示があった。⇒JR西日本

ウ 美祢線に沿う南北方向の需要を増やしていくためには、美祢線に沿ったまちづくりが必要といえる。⇒学識経験者

エ 需要（マーケティング）に焦点を当てて議論した結果、ターゲットを“通学”（沿線地域外からの通学を含む。）と“観光客”の2つに絞って利用促進策等を検討することとした。

今回のワーキンググループは、初めて学識経験者や外部コンサルタントを招聘し、第3者の意見を取り入れながらの会合であった。今後もワーキンググループにおいて、復旧後の利用促進策等の検討を重ね、JR美祢線利用促進協議会の総会に報告することを確認し、第2回復旧後の利用促進検討ワーキンググループは終了した。